沖縄県男女共同参画センター「てぃるる」情報誌

てぃるるちゃんがいく!

vol.
84
2026.10



特集　令和8年度 第8期「てぃるる塾」開講！

・連載　てぃるる塾修了生コラム　第17回　第2期修了生　吉澤早苗さん
・てぃるる利用者アンケート／てぃるる図書情報室「遠隔地情報提供事業」
・事業報告　女性相談支援員新任養成研修／法律講座／ジェンダーを考える教室
講座等企画団体助成事業／男女共同参画研修参加費補助事業
・講座案内　「てぃるる塾」公開講座　「未来を拓く挑戦−想いは実現する−」
「戦後80年おきなわ女性のあゆみ」からまなぶ連続講座
女性相談フリーダイヤル／男女共同参画講座（オンデマンド配信）
・てぃるるクラブ／てぃるる相談室の案内

おきなわ女性財団
ホームページ

沖縄県男女共同参画
センターてぃるる
ホームページ

令和８年度 女性人材育成事業

仲間と共に、踏み出す一歩！



第８期「てぃるる塾」開講！

～ てぃるる塾 とは～

女性が様々なライフステージの中で自分の持てる力を最大限発揮するため、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力等を伸ばし、職場、家庭、地域それぞれの場で活躍できる人材を育成するための講座です。さらに、塾生同士で刺激し合いながら、講座終了後も支え合う仲間となっていくネットワークづくりを目指します。沖縄県と公益財団法人おきなわ女性財団が主催し、令和元年度に開講しました。これまでに第１期～第７期、178 名の塾生が修了しています。

沖縄県内に在住する成人女性（40 代まで／性自認が女性の方も含む）を対象に塾生を募集し、今年度は 27 名の塾生が学びます。

全９回のプログラムでは、コーディネーターの大城五月氏（株式会社 hareruya 代表／社会起業家）を中心に４名のアドバイザーによるサポートも受けながら、沖縄県内外の各分野で活躍している講師から学び、グループワークなどを行います。最終日には、男女共同参画をテーマにグループワークで課題検討した内容について報告会を行います。

9月10日(木) 第1回 開講式

今年度は、20 代５名、30 代 10 名、40 代 12 名、合計 27 名の第８期生が受講します。

公益財団法人おきなわ女性財団の亀濱玲子理事長は、開会の挨拶で塾生に激励の言葉を送りました。

「先ほどオリエンテーションで皆さんの自己紹介を拝見し、ドキドキとワクワクが交差した様子が印象に残っています。これから約半年間、皆さんが充実した時間を過ごし、どのように変わっていくかを楽しみにしております。第８期てぃるる塾のスタートに際し、１つ報告させていただきます。沖縄県は38の有人離島を抱えた島しょ県です。これまでのてぃるる塾では、沖縄本島内からの参加にとどまっていましたが、今年は旅費補助事業を新設したことにより、初めて久米島町、石垣市、宮古島市からも参加いただけることとなり、大変嬉しく思います。

皆さんの学びが実り多いものになりますことを心から願っております。」と話しました。

また、てぃるる塾の塾長である玉城デニー沖縄県知事は、講話の中で塾生に温かいメッセージを送りました。

「本日は、私が『てぃるる塾』を立ち上げた想いをお話します。知事となり、さまざまな方とお話をする中で、社会に出ると成長を求められる一方で、仕事や家庭の役割が忙しく、自分を磨く機会がないという話を聞きました。そこで、女性たちが知り合い、お互いに気付きを与え合い、共に学ぶ場を作ろうということで『てぃるる塾』が立ち上がりました。『てぃるる』は沖縄の古い歌集“おもろそうし”から来ており、満月のように優しく道や手元を照らしてくれる光のことで、そのように輝いてほしいとの想いが込められています。

てぃるる塾では、ダイバーシティマインドやロジカル系スキル、コミュニケーション系スキルなどを伸ばしたい力として設けています。その成長のためには、『Let’ s talk about ！』ぜひ積極的にコミュニケーションをし、どんどん意見も提案してほしいなと思います。また、グループワークの中で良いと思った意見やスキルはどんどん真似をして、自分の中になかったものを得るチャンスにしてください。我々は誰かの真似をすることによって、オリジナルを生み出していくことができます。『Take it easy ！』気を張りすぎず、ぜひ頑張ってください。」



（公財）おきなわ女性財団
亀濱玲子 理事長



沖縄県 玉城デニー 知事



開講式の様子



男女共同参画講座の様子

男女共同参画講座

開講式後には、沖縄キリスト教学院大学大学院異文化コミュニケーション科長を務める新垣誠氏による「男女共同参画」をテーマとした講座が行われました。

新垣氏は、男女共同参画に関する言葉について丁寧に解説しながら、職場、家庭、地域それぞれの領域における課題の整理を行いました。



講師
沖縄キリスト教大学院大学大学院
異文化コミュニケーション科長
新垣　誠 氏

ジェンダー・バイアス・フリーとは？

男女共同参画を考える上で鍵となる言葉“ジェンダー”をご存じでしょうか。ジェンダーとは、社会が作り出す性差のことです。例えば、男の子と女の子で着せる服の色が違う、見せるコンテンツが違う、そういった外部の働きかけ・環境の中で作られていく違いのことです。最近よく聞く言葉で、“ジェンダー・フリー”や“ジェンダーレス”があります。これには重要な言葉が抜け落ちていて、本当に言いたいのは“ジェンダー・バイアス・フリー”です。バイアスとは、偏見を意味します。つまりは、ジェンダーの違いによる偏見や差別から自由になることを意味しています。

例えば「男性は強くあるべき」「女性は家事や育児が得意」といったジェンダー・バイアス、固定的な役割分担を押し付けるのではなく、性別にかかわらず多様な生き方を認めることを目指しているのが、男女共同参画社会づくりです。

日本の現状

日本は1970年代の高度経済成長期に「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担によって大きな成長を遂げました。しかしその一方で、男性の長時間労働や家庭不在、女性への家事・育児・介護負担の集中が、様々な問題を生じさせました。そういった問題を受け、1999年に男女共同参画社会基本法が制定されましたが、未だに課題は多く残っています。

“ジェンダーギャップ指数”（各国の男女間の不平等・格差を測る指数）では、日本は146か国中118位、G７の中でも最下位です（2025年時点）。これは４つの指標で計算されますが、日本は健康や教育の分野では高評価の一方、政治と経済の分野において男女格差が大きく、順位を押し下げています。

沖縄県においても、ジェンダー平等に向けた様々な課題があります。例えば、全国と比較して多いＤＶ被害について考えます。男性が女性に暴力を振るう理由は何でしょうか？お酒でしょうか？経済的困窮でしょうか？いいえ、お酒を飲んでいても、貧しくても、暴力を振るわない男性もいます。唯一の理由は「男性は女性を殴ってもいい」と思っている価値観です。その価値観を持っている人を変えなければいけません。だから意識啓発は非常に重要です。

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

私たちは、幼い頃から玩具、メディア、広告、家庭や学校での経験などを通して「男性＝力強い、メカ好き、一家の大黒柱」「女性＝おしとやか、甘いもの好き、愛嬌」といったイメージを身に付けていきます。これらは意識的に信じているつもりがなくても、無意識に判断や行動に影響します。

例えば、後出しじゃんけんをやってみましょう。
後出しで勝つのは簡単ですが、
負けるのはどうでしょうか。
…難しいですね。



頭では負ける為の手が分かっていても、身体は勝つ手を出そうとしていまいます。

幼い頃から繰り返してきた“じゃんけんは勝つもの”という経験が身体に染みついているように、ジェンダーの意識も幼い頃から周囲の「男はこうあるべき」、「女はこうあるべき」に影響を受け続け、形成されていきます。このジェンダー意識はやがて社会の規範となり、私たちを苦しめるのです。

ジェンダー規範は女性だけでなく、男性にも「弱音を吐いてはいけない」「家族を養わなければならない」といった過度なプレッシャーを与えます。そのため、ジェンダー平等は女性のためだけの問題ではなく、男性も含め、すべての人が性別による固定的な役割から自由になるための課題です。

「○○は男の仕事、△△は女の仕事」というようにジェンダー規範を相手にも自分にも強要せず、お互いに一人の人間として尊重し、互いに支え合うことが、男女共同参画社会、そしてジェンダー平等の原点かなと思います。

◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

塾生たちは、今後のグループワークで課題検討を行う為のヒントや気付きを得て、講座終了後には活発な意見交換を行いました。

てぃるる塾修了生コラム　第17回



2期生　吉澤（よしざわ）　早苗（さなえ）　さん

プロフィール

助産師歴20年、4児の母。エナ・助産所とママケアハウス・さくらを運営し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援。一般社団法人ミライママポケット代表として、若年ママの居場所づくりや就労支援にも取り組んでいる。

第２期生 報告書

てぃるる塾の学びを、地域の母子支援へ

私がてぃるる塾第２期を受講したのは、2020年、コロナ禍の真っただ中でした。人と会い、語り合う機会が限られる時期でしたが、講座を通して、女性の権利や男女共同参画、ビジネスマインドについて学び、自分の生き方や仕事を改めて見つめ直す時間となりました。

特に印象に残っているのは、さまざまな職種や立場の方々との出会いです。同じ社会の中にいても、置かれた環境によって見える課題や大切にする価値観は異なります。互いの経験に耳を傾ける中で、「自分の当たり前」だけで判断せず、多様な背景を想像することの大切さを学びました。

現在、私は助産師として助産所を運営し、妊娠期から産後、子育て期まで、地域の母子に寄り添う活動を続けています。また、若年ママの居場所づくりや就労支援にも携わり、年齢や家庭の状況にかかわらず、女性が自分の将来を選び直せる土台をつくることを大切にしています。現場で感じるのは、出産後の母親が心身の回復途中でありながら、家事や育児を一人で抱え、「母親だからできて当然」と無理をしてしまう現実です。

最近、第６次男女共同参画基本計画に関する報道に触れ、男性の育児休業取得は進んでいる一方で、家事・育児・介護の多くを今も女性が担っていることが示されていました。制度があることに加え、家庭や職場、地域の意識が変わり、誰もが安心して助けを求められる環境をつくる必要があると感じています。

昨年度は（公財）おきなわ女性財団の助成金を活用し、「さくらさくママ講座」を開催しました。産後の母親が、産後の心身や育児について正しい知識を得るとともに、悩みを安心して話し、親子でつながれる居場所づくりに取り組みました。参加者同士が言葉を交わし、「自分だけではなかった」と表情を和らげる姿から、学びと居場所の両方があることの大きな意味を実感しました。



講座の様子

今年度は、支援をさらに早い時期へ広げ、妊婦さんへ講座（下記を参照）を届けています。妊娠中から産後の心身の変化や暮らしを知り、家族と準備することは、母親だけに負担を集中させない第一歩にもなります。

てぃるる塾で得たのは、知識だけではなく、社会の課題を自分事として捉え、仲間とつながり、小さくても行動に移す力でした。女性が妊娠や出産、子育てによって孤立したり、夢や仕事を諦めたりすることのない地域を目指し、これからも助産師として、学びと安心、人とのつながりを届けていきたいと思います。

さくらさく♡両親講座 全3回

参加費 無料

沐浴・おむつ替え体験、妊婦の身体のケアを二人で！

日時　11月6日（金）18:30～20:30
対象　妊婦さんとパートナー
会場　ママケアハウスさくら１階
定員　先着５組（10名）・託児あり

申込フォーム▲

人生を自分らしくデザイン！

視聴無料（～2027年3月まで）



第７期てぃるる塾　公開講座　動画公開しています！

『沖縄から世界へ
逆境をチャンスに変える小さなヒント』





講師　嘉数 悠子（かかず ゆうこ）氏　天文学者 ／ 教育普及マネージャー（国立天文台、TMT国際天文台）

ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ配信、DVD貸出し等は、ｸﾞｰｸﾞﾙﾌｫｰﾑ、メール、電話（098-868-3717）でお申込み下さい。→

《ている利用者アンケート》

沖縄県男女共同参画センター「ている」では施設運営の参考にさせていただくためにアンケートを実施しています。皆さまのご意見を参考に、これからもより良い施設運営を行っていきます。

アンケート回答総数　52 件　（令和 8 年 9 月実施）

1 年代　（単位：人）

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～
0 人	4 人	9 人	13 人	9 人	12 人
0%	8%	19%	28%	19%	26%

2 ているるをどのようにして知りましたか。※複数回答あり。

知人・友人	チラシ・パンフ	ラジオ	新聞	インターネット	その他
32 人	2 人	0 人	0 人	10 人	6 人
64%	4%	0%	0%	20%	12%

3 何回目のご利用ですか。

はじめて	2～4回目	5～10回目	10回目以上
3 人	8 人	6 人	33 人
6%	17%	12%	65%

4 来館目的　※複数回答あり。

催事主催	催事参加	図書室利用	その他
35 人	9 人	0 人	10 人
65%	17%	0%	18%

5 利用施設　※複数回答あり。

ホール	2 階図書室	研修室・会議室	和室・茶室・生活・創作室	フィットネスルーム	ふれあいサロン	その他
2 人	2 人	36 人	14 人	12 人	1 人	1 人
3%	3%	53%	21%	18%	1%	1%

6 施設内の環境について（安全性 / 空調 / 点字 / 案内等）

満足	やや満足	やや不満	不満
28 人	20 人	1 人	1 人
56%	40%	2%	2%

7 職員の対応について

満足	やや満足	やや不満	不満
38 人	12 人	0 人	0 人
76%	24%	0%	0%

8 施設利用の手続きについて

満足	やや満足	やや不満	不満
31 人	15 人	3 人	0 人
63%	31%	6%	0%

9 利用料金について

とても安い	安い	高い	とても高い
16 人	16 人	16 人	16 人
57%	57%	57%	57%

10 今後の利用について

より多く利用	同じくらい利用	少なく利用
25 人	22 人	0 人
53%	47%	0%

施設ご利用のご案内

受付場所　ている 1 階窓口
受付時間　9:00～20:30（日曜日は 16：30 まで）
休館日　毎週月曜日 /12 月 29 日～1 月 3 日
申込方法
予約の方法、利用料金、利用方法等、詳細につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

沖縄県男女共同参画センター
管理運営団体
TEL:098-866-9090

詳細はホームページからもご覧頂けます。
→→→





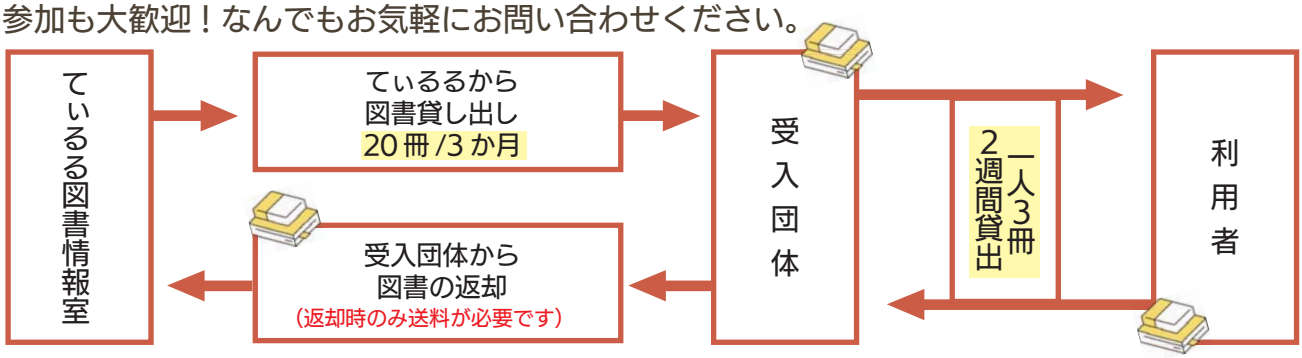
アンケートのご協力ありがとうございます。



遠隔地情報提供事業を活用しませんか？

図書貸出無料

沖縄県の男女共同参画社会づくりにおける意識啓発や情報発信のため図書の貸し出し（無料）をしています。この事業は、団体登録等の手続きをして頂ければすぐに始めることが可能です！遠隔地の情報格差是正や、地域住民との交流、職場活性化などに積極的な本島内企業の参加も大歓迎！なんでもお気軽にお問い合わせください。



遠隔地情報提供事業
お問合せは
ている図書情報室
☎ 098-868-4077（直通）



ている図書情報室利用案内

火～土▸9 時～ 20 時
日曜日▸9 時～ 17 時　月曜日▸定休日
貸出冊数▸1 人 10 冊まで　2 週間貸出





事業報告

女性相談支援員新任養成研修（全４回）

これから相談員をめざす方を対象として、必要な知識及び技能の基礎を学ぶ研修を同一プログラムで県内３か所で開催し、124 人が受講しました。

対　象　女性相談支援員希望者、実務経験概ね２年未満の相談支援員、女性支援に関心のある方、行政職員

日　時　（1）宜野湾市　　令和８年 ７月　８日（水）　９日（木）
（2）石垣市　　令和８年 ７月15日（水）16日（木）
（3）宮古島市　　令和８年 ９月　２日（水）　３日（木）

内　容　1 「女性相談はなぜ必要か」 講　師　比嘉 紀枝氏
（琉球大学ヒューマンライツセンター特命准教授／公認心理師／臨床心理士）
2 「相談員の基本を学ぶ」 講　師　倉 ますみ氏
（精神保健福祉士・社会福祉士）
3 「沖縄文化における『家』とジェンダー」 講　師　山城 彰子氏
（琉球大学国際地域創造学部講師・女性史研究者・てぃーだあみ共同代表）
4 「女性相談支援員の役割と連携」 講　師　親泊 由香里氏
（沖縄県こども未来部女性相談支援センター 相談班長）

主　催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団


講師　比嘉 紀枝氏


講座の様子　石垣会場


講師　山城 彰子氏


講座の様子　宮古会場

法律講座　「ドキュメンタリー映画を通して考える 日本国憲法とジェンダー」

日　時　令和８年８月４日（火）
18:00 ～ 20:15
会　場　沖縄県男女共同参画センター てぃるる３F 研修室
対　象　関心のある方
第１部　ドキュメンタリー映画上映
「私は男女平等を憲法に書いた」
（映像提供：ドキュメンタリー新社）
第２部　映画解説＆講話
「日本国憲法とわたしたち」
講　師　赤嶺 朝子氏
（赤嶺朝子法律事務所 弁護士）
主　催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団


講座の様子


講師　赤嶺 朝子氏

講座の第１部では、1946 年に、日本国憲法草案を書いたベアテ・シロタさんの足跡をドキュメンタリー映画でたどり、第２部では赤嶺弁護士が、立憲主義の基本や当時の日本にも人権意識の水脈が見られたことなどを解説した上で、社会における問題は憲法を改正しなければ解決しないものなのか、法律の改正で足りるのかを意識することも大切であると述べました。

ジェンダーを考える教室 「ジェンダーってなんだろう？　わたしらしくあなたらしく ～沖縄文化における「家」とジェンダー～　in 伊江村」

おきなわ女性財団は、沖縄本島以外の島しょ部にも講座を出前しています。今回は伊江島にお邪魔してきました♪


講座の様子

日　時　令和８年８月１３日（木）
１８：００ ～ １９：３０
会　場　はにくすにホール　セミナールーム
対　象　どなたでも
講　師　山城 彰子氏
（琉球大学国際地域創造学部講師・女性史研究者・てぃーだあみ共同代表）
主　催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団


講師　山城 彰子氏

講師の山城氏は、沖縄におけるトートーメー跡継ぎ問題などを例にあげ、男女平等に関する沖縄県民、中でも北部の意識調査結果について解説した上で、琉球家譜をもとに王朝時代の女性たちの人生はいろいろであったことを紹介しました。また、性のあり方は多様で豊かなものであり、周りが決めるものではなく、大切なことは誰にとっても安心で安全な社会を目指すことと話しました。多くの映像や資料で楽しく学べる講座でした。

令和８年度講座等企画団体助成事業

第 6 次沖縄県男女共同参画計画（ＤＥＩＧＯプラン）の推進を目的とした講座（沖縄県内の地域や民間団体が企画）に対して、実施にかかる経費の一部を助成しています。
令和８年度は、５団体の助成を決定しました。

沖縄県女性団体連絡協議会／エナ・助産所／みんなが繋がる大きなわ／沖縄県公立学校等女性管理職研究協議会／一般社団法人沖縄県女性の翼
（申請順）



沖縄県女性団体連絡協議会



エナ助産所



沖縄県公立学校等女性管理職研究協議会

令和８年度男女共同参画研修参加費補助事業

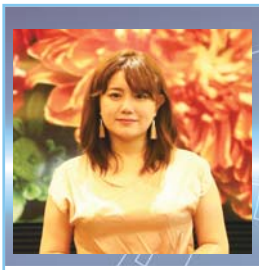
男女共同参画の推進に資する国内外研修への参加を促進して、女性リーダー育成に寄与することを目的に研修参加費用の一部を補助しています。今年度は、２名の補助を決定しました。

沖縄県 DEIGO プラン 詳細ページ▶

講座案内

お申込み
お問合せ

各講座の申込グーグルフォーム・お電話　098-868-3717
ホームページよりお申込み下さい。



令和８年度女性人材育成事業　「てぃるる塾」公開講座

未来を拓く挑戦 -想いは実現する-

最先端技術の研究者であり、企業のトップとしても活躍する講師のライフストーリーから学び、自らの人生をどのようにデザインするか考える講演会です。

無料講座

講　師　**玉城 絵美（たまき えみ）氏**

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授
琉球大学工学部 客員教授
H2L, Inc. CEO

プロフィール

人間とコンピュータの間で身体感覚を伝達し，体験共有を促進するBodySharing®の研究と事業開発に従事。2012年にH2L，Inc.を創業。PossessedHand，UnlimitedHand，FirstVR，CapsuleInterfaceなどの研究とインタフェースを発表。2020年国際会議AugmentedHumanにて近年で最も推奨される研究論文として表彰。内閣府、経産省等で科学技術やイノベーションに関する委員を担当。

日時　2026年 10 月 23 日(金)
13:00～14:30 (開場12:30)

会場　沖縄県庁 ４階講堂（那覇市泉崎1-2-2）
※公共交通機関でのご来場にご協力ください。

対象　関心のある方どなたでも
定員 100名（要事前申込）

申込　電話　098-868-3717
グーグルフォームから⇒

主催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団

令和８年度 情報発信・ネットワーク事業

『戦後80年おきなわ女性のあゆみ』からまなぶ 連続講座　全5回

参加費無料

沖縄県が戦後80周年平和祈念事業としてまとめた『戦後80年おきなわ女性のあゆみ』をもとに、沖縄の女性たちが平和や社会の発展に果たしてきた歩みを学ぶ全5回の連続講座を開催します。

定員　各回30名（要申込）
会場　沖縄県男女共同参画センターてぃるる１F　ふれあいサロン
申込　グーグルフォーム・FAX　098-863-8662
主催　公益財団法人おきなわ女性財団　後援　沖縄県
お問合せ　合同会社AMUWA
Email: amuwa.okinawa.event@gmail.com

第１回　時代を切り拓いてきた女性たち
登壇　大城 貴代子氏　幸喜 徳子氏　東門 美津子氏　進行　山城 紀子氏
9月8日（火）18:00～20:00

第２回　戦争の記憶を語り継ぐ
登壇　翁長 安子氏　吉川 麻衣子氏　進行　中塚 静樹氏
10月24日（土）13:30～15:00

第３回　権利獲得から多様性へ
11月14日（土）

第４回　基地と平和と女性たち
11月28日（土）

第５回　女性たちの足跡を未来に
12月12日（土）

▲ 第2回講座お申込みフォーム

※3回以降の講座詳細はおきなわ女性財団のHPでご案内します。

令和８年度ＤＶ対策事業

11 月 12日 ～ 25日
「女性に対する暴力をなくす運動」期間

てぃるる女性相談フリーダイヤル

☎0120-912-600

（通話料無料・匿名可・秘密厳守）

期間 11/12（木）～11/25（水）
時間 10:00～16:30

あなたは一人ではありません。
相談してみませんか？

主催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団

令和8年度男女共同参画講座

背中を押してくれたヒロイン
～少女マンガに見る多様な生き方・ジェンダー～
を動画でご視聴いただけます！

６月に開催した男女共同参画講座の様子を動画として編集し、オンデマンド配信・ＤＶＤ貸出を行います！ご来場が叶わなかった方、もう一度お話を聴きたい方、ご家族や友人・知人に勧めたい方など、ぜひこの機会にご視聴ください。



講師　トミヤマ ユキコ 氏
白百合女子大学 人間総合学部 准教授

・・講座内で紹介するマンガ・・
『ベルサイユのばら』（池田理代子/集英社）
『美少女戦士セーラームーン』（武内直子/講談社）
『逃げるは恥だが役に立つ』（海野つなみ/講談社）
『じゃあ、あんたが作ってみろよ』（谷口菜津子/ぶんか社）
『みどりちゃん、あのね』（大白小蟹/トーチweb）

2027年３月まで　視聴無料

申込みフォーム▲

主催　沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団

事業案内

～ているるクラブ～

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体は、「七五三サポート」と「図書サポート」の2つの活動を行う、「ているるクラブ」を運営しています。現在、協賛してくださったクラブ会員のみなさまからのご支援を受けて活動しています。



ているるクラブ会員への加入（年会費7万円納入）

ているるクラブ会員事業者のみなさま

＊敬称略、順不同

- 沖縄ガス株式会社
- 沖縄セルラー電話株式会社
- 株式会社國場組
- 株式会社白石
- 有限会社トータルケア結
- 西町クリニック
- 一般社団法人風樹会
- 医療法人八重洲クリニック
- 株式会社ロワジール・ホテルズ沖縄



七五三サポート

①ひとり親家庭等の子どもたちのための七五三祝い撮影会を無料開催。琉装の着付けからアルバムの進呈まで。



図書サポート

②男女共同参画社会づくりに寄与する児童書・教養書・雑誌の蔵書をより充実させ、県民へ貸出。

③会員企業の広報
図書カバー、広報誌、施設HP等に企業名や広告を掲示し、周知する。

七五三記念琉装撮影会に参加した保護者の声

経済的理由により断念していたため、参加させて頂きとても幸せでした。

ひとり親になり、子の成長の節目のお祝いをなかなかしてあげることが出来なかったので、とても助かりました。



キレイにしてもらい、娘がよろこんでいる顔を見られてとても良い日になりました！

図書・雑誌は、2階図書情報室にて県民の方どなたでも借りられます。



図書・雑誌の一覧はこちら

ているるクラブに関するお問い合わせは → 沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 ☎098-866-9090

～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。
相談料は無料（通話料は相談者負担）、秘密（プライバシー）を固く守ります。

	女性相談 TEL 098-868-4010	国際女性相談 TEL 098-880-3402	にじいろ相談 TEL 098-880-8434	男性相談 TEL 098-868-4011
日時	火曜～土曜 10:00～17:00		土曜のみ 10:00～17:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話／面接（要予約） **女性からの相談を女性の相談員がお受けします。**		電話／面接 （要予約）	電話 **男性からの相談を男性の相談員がお受けします。** ※ 相談は、電話相談のみとなります。
	特別相談（要予約） **専門家による面接相談** ◆法律相談（月2回） ◆こころの健康相談（月1回）	特別相談（要予約） **専門家による面接相談** ◆国際法律相談（週1回）		
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごと等についてご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始（12/29～1/3）		年末年始 （12/29～1/3）	祝日、年末年始 （12/29～1/3）

ているるちゃんがいく！

vol.84 2026年10月発行



〒900-0036 **那覇市西3-11-1**
沖縄県男女共同参画センター「ているる」

発 行

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体
TEL 098-866-9090
FAX 098-866-9088
ホームページ
https://www.tiruru.or.jp/

公益財団法人おきなわ女性財団
TEL 098-868-3717
FAX 098-863-8662
ホームページ
https://www.okinawajosei.org/